

【金利の引き上げについて】

10月31日、大手銀行5行が11月の住宅ローン金利を発表しました。

3行が固定期間10年の基準金利を引き上げました。

10月と比べた上げ幅は、三菱UFJ銀行と三井住友信託銀行は据え置き、りそな銀行は0.03%、三井住友銀行は0.10%、みずほ銀行は0.15%です。

一方で、日銀が11月2日に公表した、金融政策決定会合の議事要旨では、超低金利政策の維持が全員一致で決定しています。

政策委員からは、賃上げを伴う形で物価上昇率を2%で安定させる目標の達成のため「経済・賃金構造の変革による生産性向上が必要であり、それを後押しする上でも金融緩和の継続が妥当」といった声があがったとのこと。

超低金利政策を継続するという方針ではありますが、金融機関によっては住宅ローンの金利を引き上げています。今後、超低金利政策の方針転換や各行のさらなる金利引き上げも視野に入れる必要があります。今不動産の購入を悩んでいる方は、是非次の引き上げの前に検討されることをお勧め致します。

金利の引き上げに加えて、建築資材の高騰に伴い建築費が上昇している今、不動産の購入についてなるべく負担を減らせるようなご提案が出来ればと思います。

例)

○住宅ローン減税

→既存住宅の場合、令和7年入居の方まで対象ですが、年末のローン残高で控除額が決まるので年末年始で購入を検討されている方は年末までの購入をお勧めします。

弊社では、より良い売買のタイミング、スケジュールの相談も承っております。不動産に関しては、あなぶき不動産流通にお気軽にご相談くださいませ。